

学校教育における ICT 活用の取組と成果を お知らせします

市教委では、児童生徒に1人1台のパソコンを整備し、ICTを活用した授業を令和3年度から推進しています。本年度、「クラスの子ども全員が夢中になる授業づくり」を目指して、ソフトの導入や好事例共有などを実施した結果、各種の指標が小・中学校ともに向上しました。

1 内容

岡山市では、「クラスの子ども全員が夢中になる授業づくり」を目指して、各校でICTを活用した授業改善に取り組んでいます。本年度は、授業で効果的に活用できる岡山市共通のソフトの導入や、ICT操作に不慣れな教員に対するサポートなどの取組を強化することとしました。

▼実施内容

- ・岡山市共通のデジタルAIドリルと授業支援ソフトの導入(予算:約1億8000万円)
- ・専門知識のあるICT支援員の配備と教員研修の充実
- ・先進校12校で授業公開(児童生徒が主体的にICTを活用し、収集した情報から考えをまとめ、意見を共有して学びを深める授業)し、市内教員が視察・研修

その結果、令和6年10月、12月に実施した岡山市独自調査では、数値の上昇がみられた。

○学校の授業はわかりやすくて楽しい

小学校6年生 77.9%(R5.10月) → **78.7%(R6.10月)**

中学校3年生 67.8%(R5.10月) → **72.6%(R6.10月)**

○ICTを使うと勉強が分かりやすく発表しやすい

小学校6年生 69.1%(R5.10月) → **71.1%(R6.10月)**

中学校3年生 64.6%(R5.10月) → **72.1%(R6.10月)**

○授業でICTをほぼ毎日使う

小学校6年生 19.8%(R6.4月) → **66.3%(R6.12月)**

中学校3年生 13.7%(R6.4月) → **38.9%(R6.12月)**

小・中学校では、ICTの活用率とともに、その効果を実感し、夢中に授業に取り組んでいると考えられる児童生徒が増えてきている。

ICTを活用した教育の推進に向けては、総合教育会議などで教育委員会とも、活用の効果検証など、しっかり協議を重ねていきながら、「岡山市の子ども全員が夢中になる授業づくり」に向けた取組の充実をさらに図っていきます。

4 その他

詳細は別紙にてご確認ください。

【参考】

デジタルAIドリルとは… AIを活用して、一人一人の子どもの理解度に合わせた問題を提供する学習ツール

授業支援ソフトとは… 端末上で、友達と意見の共有や比較が容易にできる学習ツール

【問い合わせ先】

岡山市教育研究研修センター 赤枝 直通 086-944-7711